

地域社会における在日外国人の多様化と  
ネットワーク変容に関する実証的研究

崔 博憲

(広島国際学院大学現代社会学部・准教授)

飯田 悠哉

(京都大学大学院農学研究科修士課程)

坂梨 健太

(同支社大学グローバル・スタディーズ研究科・日本学術振興会特別研究員)

瀬戸・徐・映里奈

(京都大学大学院農学研究科博士後期課程)

中田 英樹

(明治学院大学国際平和研究所・助手)

2013年2月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

1990年の入管法改正以降、日本で働く外国人は増加・多様化を続けてきた。こうした変化のなか、さまざまな国や地域から日本にやって来た外国人が、さまざまな在留資格ごとに、さまざまな形で労働に従事するようになり、国内のいくつかの産業や地域では、もはや彼／彼女らの労働力なしに成り立たなくなっている。

本書は、こうした社会構造の変化を踏まえ、格差が拡大する日本社会のなかで厳しい労働を担っている外国人たちをどのような視座からとらえるべきかを考えたうえで、「農業」という切り口から日系人、外国人技能実習生、難民といった外国人たちの労働実態や地域社会とのつながりについて行った調査研究をまとめたものである。

近年、日本国内の農地で働く外国人は増えつつある。その多くは、最低限の労働条件で働く外国人技能実習生であるが、2008年の世界同時不況により仕事を失った日系人や、インドシナ難民なども新たに農業とのかかわりを持ち始めている。本書では、こうした実態を具体的なフィールド・ワークや聞き取り調査を通じて明らかにしている。

キーワード: 在日外国人／移住労働／農業／地域社会／日系人／外国人技能実習生／難民

2011 年度次世代研究「地域社会における在日外国人の多様化とネットワーク変容に関する実証的研究」（研究代表：崔博憲）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2011 年度プロジェクト時点

崔 博憲（広島国際学院大学現代社会学部・准教授）

飯田 悠哉（京都大学大学院農学研究科修士課程）

川越 道子（大阪大学大学院文学研究科・日本学博士）

坂梨 健太（京都大学大学院農学研究科博士後期課程）

瀬戸・徐・映里奈（京都大学大学院農学研究科博士後期課程）

中田 英樹（明治学院大学国際平和研究所・助手）

村川 淳（京都大学大学院農学研究科博士後期課程）